

115℃ 高圧蒸気滅菌用バイオロジカルインジケーター

使用前のご注意

- 有効期限をご確認ください。
- アンプルが無傷・青緑色であること、ラベルのケミカルインジケーターが青色であることをご確認ください。
- キャップの窓にテープやラベルを貼らないでください。
- 滅菌前にキャップを押し込まないでください。
- 冷蔵保存の場合、室温にしてからご使用ください。

保管上のご注意

- 2～25℃、RH 20%～80%で遮光保管してください。
- 滅菌器や殺菌消毒剤から離れた場所に保管してください。

廃棄の際のご注意

- 滅菌不十分と判定された使用済み品及び期限切れの本品は、必ず滅菌処理(121℃、30 分)を行った後廃棄してください。

操作手順

1 滅菌前

BI のラベルの空白箇所に滅菌管理上の必要事項(例:実施日時・箇所など)を油性ペンで記入し、BI を適切な滅菌袋などに入れ、滅菌器の中で最も蒸気が達しにくい箇所に置き、滅菌をかけてください。

2 滅菌後

放熱後、ラベルのケミカルインジケーターが青色から黒色に変色していることを確認し、滅菌袋を開けずにキャップをきちんと押し込んで閉めてください。



3 クラッシュ

十分放熱させた BI を滅菌袋から取り出し、写真のようにクラッシャーを使ってアンプルを割ってください。

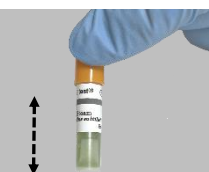
⚠ 注意: 絶対にアンプルを手で直接割らないでください。作業時は怪我をしないように必ず保護メガネ・マスク・手袋を着用してください。



4 染み込ませる

キャップを持ち、何回か軽く叩きつけて培養液を芽胞紙片に染み込ませてください。目視で染み込んでいることを確認してください。

⚠ 注意: 必ずキャップを持って作業してください。怪我する恐れがありますので、ボディ部分を持って作業しないでください。



5 培養開始

BI を垂直に保ったままインキュベーターに入れ、培養を開始してください。

培養温度: **35～39℃**

陽性コントロール: 滅菌処理をしていない BI のキャップを閉め、同様にインキュベーターにて培養します。

陽性コントロールは、使用毎に行ってください。

※48 時間以上の培養を行う場合、培地の蒸散を防ぐためにパラフィルムなどを使い、キャップ全体を密封してください。



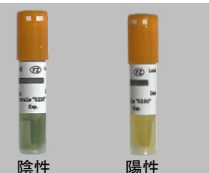
6 判定

陰性 培養液の色は青緑色のまま変化なし⇒滅菌完全

陽性 培養液の色は変化あり(青緑色から黄色)⇒滅菌不完全

陽性になる原因として次の 3 つが考えられます。

①被滅菌物による影響 ②BI の培養手技の問題 ③滅菌器本体の問題



7 記録

培養液の色を観察し、48 時間もしくは 7 日後の結果を記録してください。